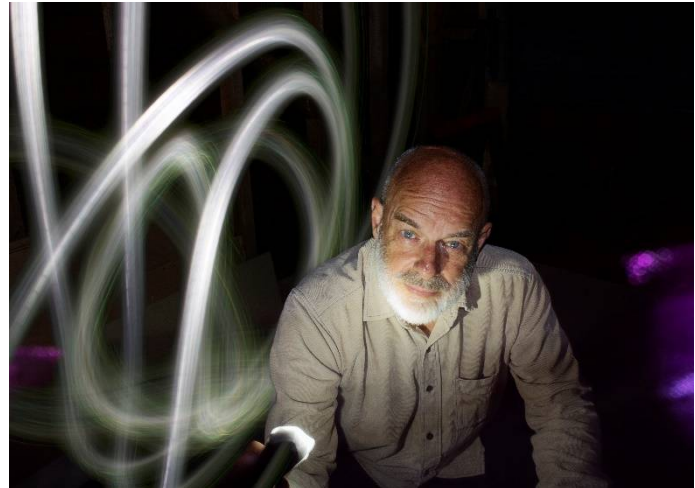
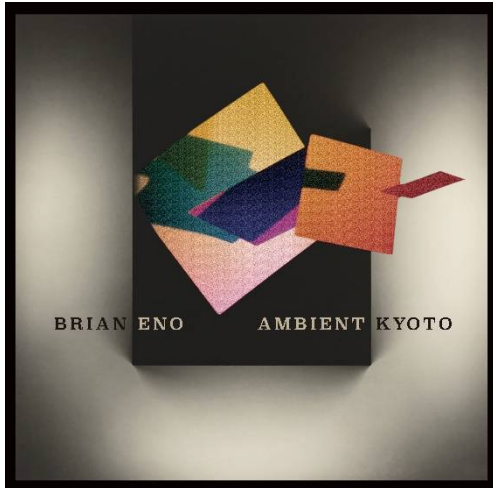


NEWS RELEASE

TOW 主催によるブライアン・イーノの“音と光のインスタレーション”
『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』が京都で6月3日より開幕。
本展における企画・制作もプロデュース。

株式会社テー・オー・ダブリュー（本社：東京都港区 代表取締役社長：村津憲一）は、この度、パーパス「新しい時代の体験を創る」の実現に向けて、ヴィジュアル・アーティストであり、アンビエント・ミュージックの創始者であるブライアン・イーノによる、音と光のインスタレーション展覧会『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』を主催し、さらに本展の企画・制作のプロデュースも手掛けました。



本展は、ヴィジュアル・アートに革命をもたらした英国出身のアーティスト、ブライアン・イーノによる音と光のインスタレーションを展開します。音と光がシンクロしながら途絶えることなく変化し続け、その空間のその時に、観客の誰もが違う体験をすることができる、参加型の空間芸術です。

【その空間のその時にしか体験できない、参加型展覧会】 ※写真は過去の展覧会のものです

興味深く聞くことも、ただ聞き流すことも、無視することもできるというリスナー主体の、あらゆる聞き方を受容する「アンビエント・ミュージック」。その創始者であるイーノは、展覧会においても、観客のあらゆる接し方を受容する空間を作り上げました。絶え間なく変化し続ける音と光がシンクロする空間において、観客は、いつきたのか、部屋のどこにいたかに よって他の誰とも違う体験をすることができます。



【コロナ禍に行われる初の大規模な展覧会】

コロナ禍において、ブライアン・イーノによる世界で最初の大規模な展覧会となります。芸術家としての活動のみならず、環境問題など社会活動にも早くから取り組んできたイーノが、世界的文化都市、京都で、どのようなメッセージを発するのか、日本のみならず世界が注目。会場は、築90年の歴史ある建築物「京都中央信用金庫 旧厚生センター」を、建物丸ごとイーノのアートで彩ります。



本展紹介ページ (<https://tow.co.jp/topics/topic-14371/>)

< 『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』 概要 >

- タイトル：BRIAN ENO AMBIENT KYOTO (ブライアン・イーノ・アンビエント・キョウト)
- 会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター
- 住所：京都市下京区中居町七条通烏丸西入 113
- 会期：2022年6月3日(金) - 8月21日(日)
- 開館時間：11:00 - 21:00 入場は閉館の30分前まで

- 主催：AMBIENT KYOTO 実行委員会 (TOW、京都新聞)
- 企画・制作：TOW、Traffic
- 協力：α-station FM KYOTO、京都 METRO、CCC アートラボ
- 後援：京都府、京都市、ブリティッシュ・カウンシル、FM COCOLO
- 機材協賛：Genelec Japan、Bose、Magnux、静科、SONOS
- 特別協力：Beatink、京都中央信用金庫

【チケットはこちらから】

<https://www.e-tix.jp/ambientkyoto/>

株式会社テー・オー・ダブリューの概要

商号	株式会社テー・オー・ダブリュー
所在地	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル
代表者	代表取締役社長 村津憲一
資本金	9億4,899万円 (2021年6月)

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社テー・オー・ダブリュー 管理本部：舛森・鶴殿

電話：03-5777-1888 MAIL：tow_info@tow.co.jp